

去年は本府省の管理職員だけ給与水準アップ !! **今年は、地方出先の管理職員だって逆転現象の改善を !**

人事行政諮問会議最終提言2025年3月



人事行政諮問会議 去年の最終提言

室長級昇任時の給与

- ▶ 課長補佐級から室長級に昇任・昇格した際に年収ベースで給与が下がるケースが少なくなること（初任管理職の給与水準の問題）…（略）…といった足下の問題の解消が挙げられる。…（略）…職務給原則との整合性を確保することを前提として、実労働時間だけではなく **職務の重要性や業務の特性をメルクマールとして妥当性のある給与水準とすることが求められる。**

【全職員を対象/来年度目処】

地方出先機関の管理職員の皆さん
『本府省だけでなく地方出先も改善を』
と 一緒に声を上げましょう !!

人事院は、地方出先機関の実態（年収ベースでどのくらい減るのか）を調べ、本府省だけでなく地方出先の管理職員も手当のアップを

昨年度、本府省の管理職員は、年収ベースで給与が下がるケースが少なくないと、本省手当が付き、約100万円も年収が増えました。
 人事院は、地方の管理職も年収ベースで減ることを説明会で認めていました。今年は、実態を調べて頂き、地方出先の管理職員になっても、年収ベースで減らないようにと声を上げましょう。

国土交通省管理職ユニオン
 2026年6月